

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日（中間配当実施の場合）
株主名簿管理人	株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
(各種お問合せ)	【電話】0120-255-100（フリーコール） ※株式関係のお手続用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。 【手続用紙請求電話】0120-351-465（フリーコール） 【インターネットホームページ】 <a href="http://www.daiko-sb.co.jp">http://www.daiko-sb.co.jp</a>
同取次所	株式会社だいこう証券ビジネス 各支社
公告方法	電子公告により、当社ホームページ( <a href="http://www.sakura.ad.jp">http://www.sakura.ad.jp</a> )に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### ホームページのご案内

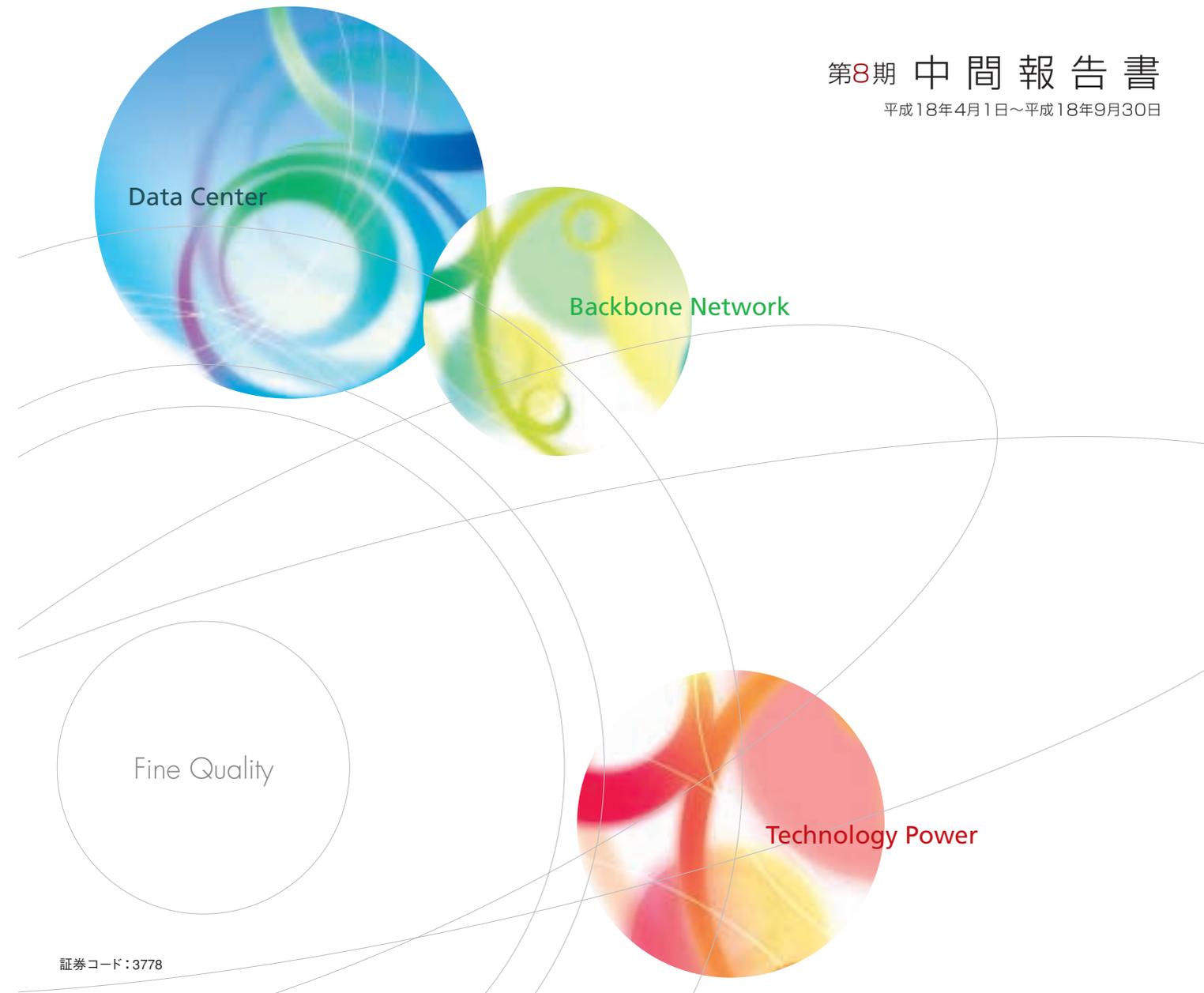
当社のホームページでは、事業のご紹介をはじめ、株主・投資家向けに様々なIR情報を掲載しております。当社は今後も、株主・投資家の皆様に正確で公平、かつタイムリーな情報提供に努めてまいります。

[www.sakura.ad.jp](http://www.sakura.ad.jp) / [www.sakura.ne.jp](http://www.sakura.ne.jp)



## さくらインターネット株式会社

〒541-0054 大阪市中央区南本町1丁目8番14号  
 TEL:06-6265-4830 FAX:06-6265-4834



## 第8期 中間報告書

平成18年4月1日～平成18年9月30日

ごあいさつ



代表取締役社長兼  
最高経営責任者 笹田 亮

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、第8期中間報告書をお届けするにあたり、株主の皆様の平素からのご支援に心より御礼申し上げます。

当中間期におきまして、当社グループは顧客の多様なニーズに応えるため、データセンターの収容能力をさらに高め、より安定したインターネット接続環境を提供できるよう、西新宿データセンターと代官山データセンターをそれぞれ6月と9月から運用を開始し、基幹回線であるバックボーンの容量について国内トップクラスの102Gbpsまで増速しました。また、顧客の満足度をいっそう高めるため、専用サーバサービスのサーバ機材の多様化、高機能化への対応、サポート体制の充実などを図り顧客獲得に注力しました。

さらに新たな事業展開として、インターネット上で複数の人が同時に参加できるオンラインゲーム事業に着手し、「ダンジョンズ&ドラゴンズ・オンライン™ストームリーチ™」のサービスを8月下旬より開始しました。また、携帯電話の番号を変更することなく契約先を変更できるナンバーポータ

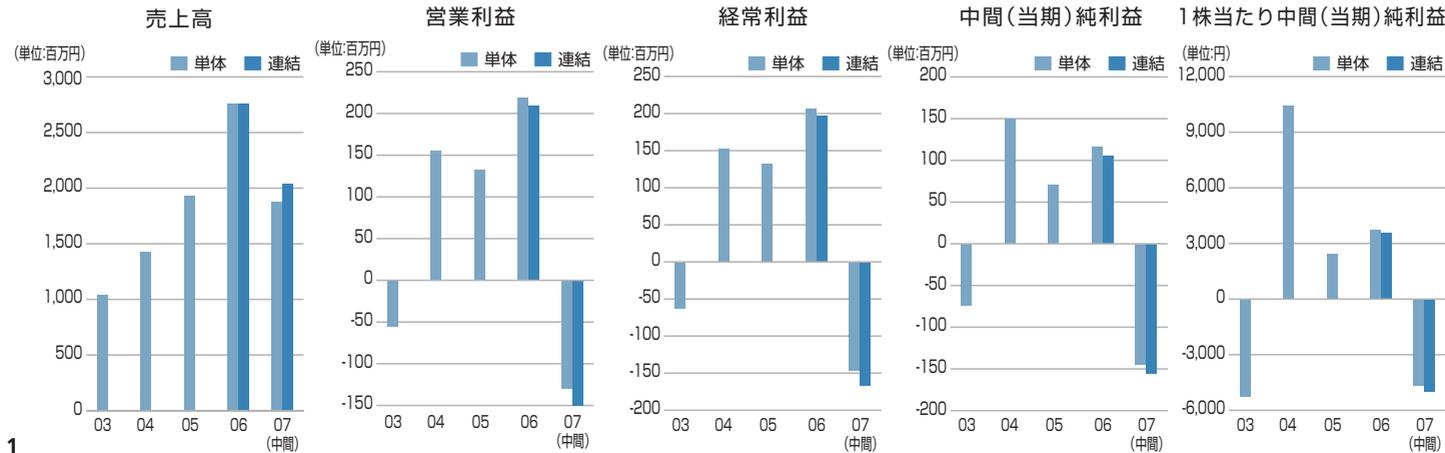
ビリティに合わせて携帯電話メールアドレスポータビリティ化サービス「mym.sg(マイメッセージ)」の正式サービスを10月から開始しました。

その一方で、回線原価等の通信原価の低減、データセンターの稼働率(ラック充足率)を高めるなど、原価低減の努力を重ねましたが、西新宿、代官山のデータセンターの新設による賃借料等の固定経費や顧客増加に伴うサポート体制の充実による人件費増などによる諸経費が増加しました。また、オンラインゲームにつきまして、当初の想定会員数に対する実績が下回りそれに伴う設備投資や運営に関わる費用が増加しました。

以上の結果、当中間期連結の売上高は2,042,666千円、営業損失は150,537千円、経常損失は168,258千円となり、中間純損失は156,653千円となりました。当社グループは、今後も成長の機会を確実に捉え具現化するために積極的な施策を推進し、成長と投資のバランスを取りながら事業展開を行ってまいります。株主の皆様には今後とも格段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2006年12月

主要経営指標



データセンター運営事業

ハウジングサービス

ブロードバンド通信サービスの普及を背景とした、コンテンツ配信会社などによるデータセンター需要の拡大などにより、当中間連結会計期間の売上高は674,440千円となりました。

専用サーバサービス

サーバ機材の高機能化などにより、より顧客満足度を高めたサービス展開をし顧客拡大に注力した結果、当中間連結会計期間の売上高は520,351千円となりました。

レンタルサーバサービス

前期の価格改定により、市場での知名度などの高まりや顧客拡大に注力した結果、当中間連結会計期間の売上高は248,535千円となりました。

インターネット接続サービス

DIXサービスにおける売上高124,015千円、ローミングサービスにおける売上高59,530千円、ダイヤルアップサービスにおける売上高23,414千円などにより、当中間連結会計期間の売上高は224,418千円となりました。

その他のサービス

レンタルサーバサービスの顧客増加との相乗効果によるドメイン取得代行手数料としての売上高80,399千円、ウイルススキャンサービスとしての売上高13,906千円などにより、当中間連結会計期間の売上高は197,847千円となりました。

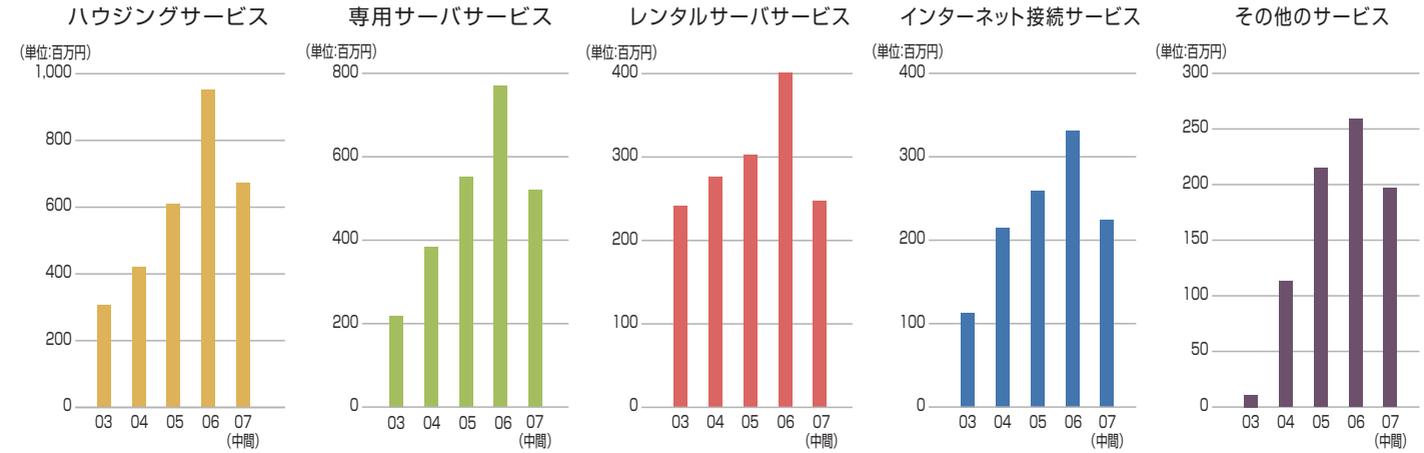
コンテンツ配信事業

オンラインゲームサービスにつきましては、平成18年8月下旬より多人数同時参加型オンラインゲーム(MMOG)のサービス提供を開始いたしました。想定会員数に対する実績の下回りにより、当中間連結会計期間の売上高は12,697千円となりました。

システムソリューション事業

システムソリューションの受注確保、高付加価値なコアプロダクトソリューションの製品開発と販売に注力した結果、当中間連結会計期間の売上高は164,375千円となりました。

サービス別売上高推移(データセンター運営事業)



### 携帯メールアドレスポータビリティ化サービス「mym.sg (マイメッセージ)」を開始

当社は、株式会社ネプロアイティと共同で平成18年8月4日より携帯電話メールアドレスポータビリティ化サービス「mym.sg (マイメッセージ)」のβ版サービス提供を行ってきましたが、10月24日の携帯電話ナンバーポータビリティの開始に合わせ機能強化を図り、10月19日より正式サービスを開始しました。

このサービスでは、携帯電話会社や機種を変更しても使用できるメールアドレスを無料で取得できるほか、アドレス帳や画像、動画などのデータを、「mym.sg」上のサーバ上に保存することができます。また、携帯アプリ、Webメーラー、PC専用のアプリといつでも、どこからでも、「mym.sg」を操作することも魅力のひとつとなっています。

正式サービスでは、操作性が大幅に向上しており、デコメールを受信できるデコメール参照機能、迷惑メール対策機能などが追加されました。また、写真などの画像データを、指定したユーザーに公開できるマイアルバム機能や「さくらのレンタルサーバ」をご利用のお客様がお持ちのメールアドレスが利用できる、レンタルサーバ連動機能についてもサービスを提供しています。

さらに、今後有料版のプレミアムサービスとして複数のメールアドレスの追加や保存容量の増加なども予定しています。



### オンラインゲーム事業に本格進出

当社は平成17年12月に米国ターバイン社との間に、同社製オンラインゲーム「ダンジョンズ&ドラゴンズ・オンライン™ストームリーチ™」(以下DDO)の販売サービス契約の締結ならびに日本語版ライセンスを取得し、平成18年8月下旬より正式サービスを開始しました。

DDOは、プレイヤー同士の会話でゲームを進める世界的ベストセラーロールプレイングゲーム「ダンジョンズ&ドラゴンズ」の世界観をグラフィックスとアクション性の高い戦闘で忠実に再現した多人数同時参加型オンライン・ロールプレイング・ゲーム(以下MMORPG)です。米国ではすでに多くのプレイヤーを獲得しており、日本においても今後参加者が増加が見込まれています。

また、平成18年8月には、同じくターバイン社製のオンラインゲーム「ロード・オブ・ザ・リング・オンライン(仮称)」の日本でのライセンス取得を発表しました。こちらは、世界的に有名な小説「指輪物語」を題材にしたMMORPGで非常に知名度が高いことから、幅広い層からの人気を得ることが期待されています。

オンラインゲームの運営には、安定したサーバ運用能力と高速な通信能力が運営基盤として不可欠な要素です。当社は、当社の強みであるデータセンター事業のインフラを活かしつつ、コンテンツの付加によって新たな企業価値を創造してまいります。



東京ゲームショウ2006で説明する笹田社長

### 動画コンテンツ配信事業を開始

当社の連結子会社である株式会社DOMIRUは、平成18年11月10日よりWeb上での動画コンテンツ配信事業を開始しました。

株式会社DOMIRUは平成18年7月21日に、動画配信に必要なデータセンターサービスを提供する当社、システムコンサルティングサービスを提供するソフィア総合研究所株式会社、携帯向けコンテンツ配信等を行う株式会社ネプロアイティ、放送分野におけるプロードバンドの取り組みで実績のあるネクシオン株式会社が共同で設立したものです。資本金1億円のうち出資比率は当社が55%、ソフィア総合研究所株式会社が25%、株式会社ネプロアイティが15%、ネクシオン株式会社が5%となっております。

DOMIRUでは、人気のスポーツコンテンツを中心に取り揃え3MbpsのエンコードによりDVD並みの高品質な映像をダウンロード配信しており、パソコンをはじめ携帯電話やゲーム機等への対応も予定しています。

また、最新のDRM(デジタル著作権管理)により不正なコピーや利用を防止し、クレジットカード、Webmoney、Bitcash、Edy Mobile等の豊富な決済手段に対応したユーザビリティの高いサービスを実現しています。

今後もこれら4社がそれぞれのIT領域における強みを活かし、さらにコンテンツを拡充し高品質で使い勝手のよい動画配信サービスを展開してまいります。



<http://www.domiru.jp/>



©AELTC2006

### 西新宿・代官山にデータセンターを開設

当社は、平成18年6月と9月に西新宿データセンター(東京都)ならびに代官山データセンター(東京都)をそれぞれ開設し運用を開始しました。今回のデータセンターの開設ならびに運用開始は、ユーザー需要が旺盛なことに加え、自社サービスの拡大によるデータセンターの自社利用がますます増加が見込まれているためです。



近時、データセンターに対する需要は、インターネット上での動画配信などコンテンツの充実化が進んでいることなどから堅調であり、特に利便性の高い都心部において逼迫していると言われております。

当社のデータセンターは都市型データセンターとして大都市に位置しており、機動的に通信回線を構築できる上に非常に安価な通信インフラの調達が可能となっています。また、インターネット事業者も同様に大都市に存在しており、ユーザーとの物理的な距離が近いことにより安定した配信能力を保持しています。

当社は、今後も高まる需要に迅速な対応ができるよう、データセンターの新設および増設に関する整備計画を積極的に進めてまいります。



無停電電源装置(左)と自家発電機(右)



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間期 (平成18年9月30日現在)
<b>■ 資産の部</b>	
流動資産	1,268
固定資産	3,489
有形固定資産	2,216
無形固定資産	676
投資その他の資産	596
資産合計	4,758
<b>■ 負債の部</b>	
流動負債	2,354
固定負債	1,619
負債合計	3,973
<b>■ 純資産の部</b>	
株主資本	682
資本金	391
資本剰余金	225
利益剰余金	65
新株予約権	3
少数株主持分	99
純資産合計	784
負債及び純資産合計	4,758

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)
売上高	2,042
売上原価	1,667
売上総利益	374
販売費及び一般管理費	525
営業損失	150
営業外収益	1
営業外費用	18
経常損失	168
特別利益	2
特別損失	2
税金等調整前中間純損失	168
法人税、住民税及び事業税	2
法人税等調整額	△ 16
少数株主利益	2
中間純損失	156

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,273
財務活動によるキャッシュ・フロー	692
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の減少額	328
現金及び現金同等物の期首残高	963
現金及び現金同等物の中間期末残高	635

中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

当中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	株主資本				新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計			
平成18年3月31日残高	366	200	237	804	—	49	854
中間連結会計期間中の変動額							
新株の発行	24	24	—	49	—	—	49
剰余金の配当	—	—	△ 15	△ 15	—	—	△ 15
中間純損失	—	—	△ 156	△ 156	—	—	△ 156
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	3	49	52
中間連結会計期間中の変動額合計	24	24	△ 172	△ 122	3	49	△ 69
平成18年9月30日残高	391	225	65	682	3	99	784

注) 財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間期 (平成18年9月30日現在)	前 期 (平成18年3月31日現在)
<b>■ 資産の部</b>		
流動資産	998	1,247
固定資産	3,610	1,349
有形固定資産	2,203	571
無形固定資産	560	227
投資その他の資産	845	550
資産合計	4,608	2,596
<b>■ 負債の部</b>		
流動負債	2,298	1,061
固定負債	1,602	720
負債合計	3,901	1,781
<b>■ 純資産の部</b>		
株主資本	704	815
資本金	391	366
資本剰余金	225	200
利益剰余金	87	248
新株予約権	3	—
純資産合計	707	815
負債及び純資産合計	4,608	2,596

※ 前期の実績は当中間期の表示方法に組み替えて表示しています。

中間損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)
売上高	1,880	1,249
売上原価	1,547	891
売上総利益	333	358
販売費及び一般管理費	463	287
営業利益(損失△)	△ 130	70
営業外収益	1	0
営業外費用	18	0
経常利益(損失△)	△ 147	70
特別利益	2	1
特別損失	2	0
税引前中間純利益(損失△)	△ 147	70
法人税、住民税及び事業税	0	25
法人税等調整額	△ 2	△ 0
中間純利益(損失△)	△ 145	45
前期繰越利益	—	128
中間未処分利益	—	174

注) 財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (平成18年9月30日現在)

設立	1999年8月17日
資本金	3億9,145万円
従業員数	114名
本社	〒541-0054 大阪市中央区南本町1丁目8番14号 堺筋本町ビル9F (06) 6265-4830 (代表)
東京支社	〒163-0706 東京都新宿区西新宿2丁目7番1号 新宿第一生命ビル6F (03) 5339-9651 (代表)

役員 (平成18年9月30日現在)

代表取締役 社長 兼 最高経営責任者(CEO)	笹田 亮
取締役 副社長 兼 最高執行責任者(COO)	田中 邦裕
取締役 最高財務責任者(CFO)	片岡 督雄
取締役 最高営業責任者(CMO)	吉岡 実
監査役(常勤)	野崎 國弘
監査役(常勤)	小川 清司
監査役	梅木 敏行

株式の状況 (平成18年9月30日現在)

発行可能株式総数	124,000 株
発行済株式の総数	32,126 株
株主数	2,702 名

大株主 (平成18年9月30日現在)

株主名	持株数	議決権比率
笹田 亮	6,600 株	20.54 %
田中 邦裕	6,600 株	20.54 %
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	2,051 株	6.38 %
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,839 株	5.72 %
鷲北 賢	1,320 株	4.10 %
菅 博	1,240 株	3.85 %
笹田 さくら	840 株	2.61 %

株式分布状況 (平成18年9月30日現在)

